資料4

ワーク・ライフ・バランスについて（議論の材料）

働き方の二極化

・競争激化等の下で
　非正規雇用が増加
　正規労働者は長時間労働

・日本は先進国中、生産性が最低

拍車

少子・高齢化

人口減少→労働力人口の減少

拍車

家族や地域の機能低下

・家族の姿の変化（共働き世帯の増加、三世代同居の減少）
・地域のつながりの希薄化

ITの発達

・ITやネットワークの発達
・働く場所の制約の縮小

労働環境の変化

・重大事故の増大
・精神疾患・過労死の増大
・非正規労働者の待遇の不均衡
・若年者による技能承継、技術の蓄積に不安
・団塊世代は、退職後の準備が不十分

労働力不足

・将来は労働力人口が顕著に減少
・既に地方では人口減少、今後も都市への人口移動が進むと予測
・女性・高齢者の活用、就業継続が進んでいない
・現在でも中小企業は特に労働力確保が困難

家族・地域の支える力への不安

・特に男性の家事育児時間が少ない・
・心の支えは家族だが、家族とのつながりが希薄化
・地域の活動への参加が低調

働き方の広がりの不足

在宅勤務、テレワーク等の普及の遅れ

希望と現実の乖離

・こころの豊かさの欲求の増大　・ライフスタイルや価値観の多様化
・仕事の希望と結婚、出産、育児、介護等の希望との二者択一を迫られている現状

ワーク・ライフ・バランスの実現

国民すべてが、多様な選択をすることが可能で、それぞれのライフステージに応じた希望を実現できる、多様性に富んだ活力ある社会

社会全体

・生産性の向上
・社会経済の長期的安定の実現
・社会保障の持続的可能性の確保

企業

・人材の確保・育成
・競争力の維持・強化

個人

・職場における能力発揮
・子育て・介護などの家庭生活の充実
・地域活動への参加促進による地域の再生
・自己啓発の充実、自己実現